



平成 22 年 02 月 18 日

各 位

会 社 名 株式会社 コシダカ
代表者名 代表取締役社長 腰高 博
(J A S D A Q ・ コード 2 1 5 7)
問合せ先 取締役管理本部長兼経理部長
酒井 幹雄
電話 0 2 7 - 2 8 0 - 3 3 8 1

平成 22 年 8 月 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 (連 結 ・ 個 別) 業 績 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 21 年 10 月 14 日に公表した平成 22 年 8 月 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 (連 結 ・ 個 別) の 業 績 予 想 を 下 記 の 通 り 修 正 い た し ま し た の で お 知 ら せ い た し ま す 。

記

1. 第 2 四 半 期 連 結 累 計 期 間 業 績 予 想 (平 成 21 年 9 月 1 日 ~ 平 成 22 年 2 月 28 日) の 修 正

(1) 修正の内容

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期 純利益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	10,444	874	842	236	9,833 円 29 銭
今回修正予想 (B)	10,605	1,314	1,295	636	26,485 円 83 銭
増減額 (B - A)	161	440	453	400	—
増減率 (%)	1.5%	50.3%	53.8%	169.3%	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 平成 21 年 8 月 期 第 2 四 半 期	8,695	528	433	165	6,913 円 09 銭

(2) 修正の理由

(売上面)

カラオケ部門は、世界的な不況の影響から脱け出せず国内個人消費が依然低迷する環境下において、リーズナブルな価格でトータルな付加価値を提供する当社の基本姿勢が消費者に受け容れられ、またキャンペーン等集客施策の積極的な展開が功を奏したため、既存店売上は前年水準を維持し堅調に推移致しました。カーブス部門は、会員数が順調に増加し、会員向けの販促用商品と通販商品の販売が目論見以上に拡大致しました。その結果売上は当初計画を若干上回る見込みとなりました。

(利益面)

カラオケ部門における低収益店舗への挺入れによる収益化と店舗運営面全般の徹底的な効率化見直しによる原価削減、カーブス部門における業容の拡大などが計画以上に進展致しました。また、カラオケ部門の出店が上半期は少なく新店開設関係費用の計上が小さかったことも加わり、利益面では当初計画を大きく上回る見込みとなりました。

2. 第2四半期個別累計期間業績予想（平成21年9月1日～平成22年2月28日）の修正

(1) 修正の内容

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	7,414	739	735	267	11,137円75銭
今回修正予想 (B)	7,476	925	935	532	22,148円04銭
増減額 (B-A)	62	186	200	265	—
増減率 (%)	0.8%	25.2%	27.2%	98.9%	—

(2) 修正の理由

連結業績予想の修正の理由と同様の理由であります。

3. 通期の業績予想

下半期は、カラオケ部門の新規出店が進み新店開設関係費用が集中すること、そして大規模リニューアル工事等による既存店のブラッシュアップをより積極的に推進していく予定であり、以上を総合的に考慮した結果、現時点では通期業績予想の修正は行わないことと致しました。

以 上